



第3学年 修学旅行を終えて

実り多き『旅』

第3学年主任 岩本 和馬

「第77期生の皆さんは、今回の『旅』で、何を持ち帰るでしょうか。皆さんの実りある学びとなってほしい。」

こんな言葉を結団式の際に贈り、3日間を共に過ごしてきました。子どもたちが旅行から帰ってきて、ご家族のみなさんに最初に見せてくれた表情はどのようなものだったのでしょうか。きっと、どのような修学旅行だったのかを、言葉以上に物語っていたのではないのでしょうか。

長崎の地において、平和についてじっくり考えたり、長崎の歴史や文化に触れたり、仲間と絆を深めたりなど、普段の学校生活では得られない経験を通して、第77期生は大きく成長して帰ってきました。北海道とは、歴史や文化の異なる地で、多くのことを経験し、そこから深く考え、中学校生活最後の旅行的行事での思い出を作ることができた3日間だったと思います。

長崎の魅力はたくさんありますが、大きな意味をもつのは、「平和」です。旅行中の平和学習の活動として、被爆体験講話



〈被爆体験講話に目と心を向ける様子〉

や平和祈念公園での平和セレモニーや原爆資料館等の見学を行いました。被爆された方のお話を聞き、涙を流しながら聞き入る生徒の姿や、平和セレモニーでの平和の決意の言葉から、平和のバトンをこれからの世代に受け継ぎ、平和を誓う決意を感じました。以下は平和セレモニーで誓った言葉の一部抜粋です。

（略）79年の時が経った今、私達は二度とこのような悲劇を繰り返さないために、平和への意識をもち続ける必要があります。しかし、今も戦争や紛争をしている国があり、紛争の数は減っても被害者は多くいます。時が経ち、私達は今の生活が当たり前だと思ってしまっています。ですがそんなことはなく、今の日本はかつての戦争などがあってこそのものであり、戦争をなかったことにはできません。過去の出来事を活かして今の日本ができています。

私たちにもできることはたくさんあります。皆さん思いつきますか？戦争に関するものだけが平和ではありません。安心して遊ぶ、食べる、勉強するなど私たちが意識せず当たり前のように過ごしている日常も平和の一

つです。私たちから平和な世の中を作っていくためには、学校生活のなかでも自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。自分の力を自分だけでなく、誰かのために使うこと。他者の気持ちや考えを尊重すること。などできることは他にもたくさんあります。(略)

【第77期生が平和宣言で誓った言葉の一部】



〈さるくガイドさんの話を聴いている様子〉

また、この『旅』を通して、保護者の皆様を含め、数多くの方々に支えられた修学旅行であったことに、改めて気付くことができたようです。添乗員さん、バスガイドさんや運転手さんはもちろんのこと、宿泊先のホテルで料理を用意してくださっている方々、自主研修先で明るく接してくれた長崎の方々、直接は会っていないけれど、どこかで支えてくださっている方々。そのような支えが「当たり前」のことではないからこそ、周囲への思いやりや気配りを忘れずに、感謝の気持ちを伝えることの大切さを再確認できた3日間でした。

修学旅行はたくさんの思い出とともに、大きな成長があった一方で、第77期生にとっての課題も見えてきたようです。日常が「当たり前」ではないことや集団としての成果や課題など、実り多い『旅』となりました。修学旅行を終えた今、個人としてだけでなく、集団としても高め合える存在として、卒業まであと10カ月、一層の成長をこれからも期待しています。

最後に、事前準備から当日のお迎えまで保護者の皆様の御協力があったからこそ理想の形で修学旅行を終えることができました。本当にありがとうございました。



〈長崎ちゃんぽんに舌鼓を打つ様子〉

点呼最強の学年を目指して

修学旅行実行委員長 3年B組 中山 佳保

5月8日～5月10日までの3日間、第3学年は長崎県へ修学旅行に行ってきました。今回の修学旅行では「平和について学んだこと」「学級・学年の良い点、課題点に気づけたこと」の2点が大きな収穫になったと思います。

長崎では1945年8月9日に原子爆弾が投下され、沢山の人の命が奪われました。被爆体験講和や原爆

資料館、平和記念公園周辺の散策は、戦争の悲惨さや平和の大切さを心から感じる体験になりました。

今回、第3学年では学年目標や修学旅行に向けたスローガンを決めずに修学旅行に行きました。それらが無い状態で、学年がひとつにまとまる事が出来るか不安でしたが、2日目は「品性」、3日目は「点呼最強の学年」という目標をかかげることで学年を良い方向へ導く事が出来ました。特に学年レクでは第77期の良いところが沢山見えたなと感じました。また修学旅行中に、大きな問題を起こさず帰ってこれたことは各系の事前準備と当日に一人一人が役割を果たそうとする姿勢が良かったからだと思います。もちろん課題も見つけたので、それはこれから決める学年目標に活かして日常で改善していきたいと思っています。

修学旅行はたくさんの人に支えていただいて成り立ちました。ありがとうございました。第2学年が掃除してくれたことも非常に嬉しかったです。修学旅行を終えてから、約2週間が経ちました。これからも毎日を大切に、より素敵な学年を作り上げていきたいと思っています。

修学旅行はたくさんの人に支えていただいて成り立ちました。ありがとうございました。第2学年が掃除してくれたことも非常に嬉しかったです。修学旅行を終えてから、約2週間が経ちました。これからも毎日を大切に、より素敵な学年を作り上げていきたいと思っています。



■附属花プロジェクト(5/11)

5月11日(土)に小・中・ふ合同で「附属花プロジェクト」が行われました。これはPTA父親委員会が主催してくださり、毎年お世話になっている緑化デザイン株式会社の御協力の下、毎年開催しているイベントです。昨年度以上に多くの方に御参加いただき、恵まれた天候の下、花壇の整備、排水溝の清掃、草むしりなどが行われました。お忙しい中、御参会くださった皆様、誠にありがとうございました。



なお、中学校玄関の横の花壇は、左写真のように毎年同じデザインになっています。これは、

- | | |
|-----|--------------|
| 三角赤 | ：生徒 |
| 三角黄 | ：先生・事務員等の教職員 |
| 丸赤 | ：卒業生 |
| 白 | ：保護者 |

を表しており、本校生徒を教職員、卒業生、保護者が皆で支え、見守り、励ましている様子を表しています。本校が大切にしている「共創の学校」の理念をイメージしたものです。御来校の際、改めて御覧いただけますと幸いです。



6月の行事予定

日(曜日)	行事等の予定	下校バス時刻(予定)
1(土)	創立記念日/部活動可	
2(日)	部活動可	
3(月)	第1回附中オープンスクール	16:20
4(火)	3時間後給食/道附P連/授業参観/学年・学級PTA懇談会	13:55
5(水)	D組給食交流	16:20
6(木)	【研究日】	16:20
7(金)	テスト前諸活動停止/シンガポール少年少女来札最終日	16:20
8(土)	部活動不可	
9(日)	部活動不可	
10(月)	前期中間テスト(5時間日課)	15:20
11(火)	避難訓練/簡易給食/【札教研事業】(3時間日課) 2年B組 数学科公開授業	12:40
12(水)	【研究日】D組給食交流	16:20
13(木)		16:20
14(金)	【職員会議】内科検診(1年・ふじのめ学級)	15:20
15(土)	部活動可 中体連(卓球)	
16(日)	部活動可	
17(月)	内科検診(2年)	16:20
18(火)	内科検診(3年)	16:20
19(水)	【研究日】D組給食交流	16:20
20(木)		16:20
21(金)	藤華祭・合唱祭大綱審議/3年フィールドワーク	16:20
22(土)	部活動可 中体連(サッカー、卓球、テニス)	
23(日)	部活動可	
24(月)	教育相談①/1年心臓検診	16:20
25(火)	教育相談②	16:20
26(水)	【研究日】教育相談③	16:20
27(木)	【教育研究大会事前研究会】(3時間日課)	12:10
28(金)	藤華祭PJ決定学活/委員会・専門局会/帰り学活10分延長	16:20
29(土)	部活動可 中体連(サッカー、テニス、バドミントン)/漢字検定	
30(日)	部活動可 中体連(サッカー、バドミントン、バスケットボール)	